



NO.4
H29.8.1(火)

気持ち良く晴れ渡った青空と共に、夏がやってきました。子どもたちは汗をかきながらも元気いっぱい遊んでいます。水遊びが始まつばかりのころは、タライの中に入ると、“お風呂に入るよう”じっと座っていた子どもたちでしたが、次第に水に慣れて、大はしゃぎで水の感触を楽しめるようになりました。たくさん遊んでいっぱい食べて、そしてしっかりと休息をとりながら暑い夏を元気に過ごしていきたいと思います。



七夕お楽しみ会したよ



“たなばたさま”や“きらきら星”的歌を歌うと、親しんで口ずさむ子もいました。七夕にちなんで、スズランテープの天の川トンネルをかけっこでくぐりぬけたり、星形の画用紙を夜空に見立てたビニール袋にたくさん張り付けたりしてあそびました。“七夕って？”の子どもたちかもしれません、できあがった作品を見たり作品で遊んだりする中で「星きれい」「星またする」などという子もいて、関心を持ってくれているようでした。



水あそびのようす

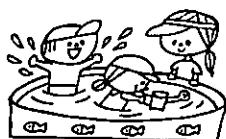


だんだん水に慣れてきて、楽しめるようになりました♪



りすぐみ

タライの中で、近くにあるおもちゃを手に持ってじっと観察しています。時に軽く水しぶきがかからつても、へっちゃらなようでした。ちゃぶちゃふとしばらくぬるま湯につかって遊んでいます。保育者が穴の開いたペットボトルに水を入れてみると、出てくる水に興味津々でした。手を伸ばして水に触ったり、そのおもちゃかして～！と言うように、保育者から受け取っていました。



こぐまぐみ

大きなプールに入ると、しばらく腰までつかって遊んでいます。中で足を動かし、バタ足のように楽しむ子もいました。バタバタと動かして水しぶきが上がるとともにこやかで水に親しんでいる様子です。フタ付きのプラスチック容器は、フタ自分で開けて上手に水を入れています。水遊びの前にしゃぼん玉遊びをすると、さすがこぐまぐみ！自分でふける子もいました。飛ばしたしゃぼん玉を、りすぐみやうさぎぐみの子といっしょに見ていました。



うさぎぐみ

水遊び用のおもちゃに興味津々で、次から次へと目移りして手に取っています。穴の開いたペットボトル、ふた付きのプラスチック容器、水鉄砲、動くクジラのおもちゃなど“これだ！”と決まるとき、考えて水を入れようとしたり動かしてみようしたりして遊んでいます。砂地に水が流れて水たまりになると、足を入れて足踏みして遊ぶ子もいます。ホースの水で“トンネル”や“雨”をすると、最初はじっと見るだけでしたが、今では自分から水に向かう子も見られるようになりました。

